

「第60回構造工学シンポジウム」 土木部門プログラム

1. 主催 — 日本学術会議 土木工学・建築学委員会, 土木学会, 日本建築学会
2. 開催日 — 2014年4月25日(金) - 26日(土)
3. 会場 — 京都大学 吉田キャンパス 百周年時計台記念館 (〒606-8501 京都市左京区吉田本町)
4. 参加費 — 無料, 参加自由
5. 開会式
日時: 2014年4月25日(金) 15:00~15:10
会場: 京都大学 吉田キャンパス 百周年時計台記念館 国際交流ホール
挨拶: 和田章 (日本学術会議土木工学・建築学委員会委員長)
挨拶: 園田佳巨 (土木学会構造工学論文集編集小委員会委員長・九州大学)
司会: 吹田啓一郎 (日本建築学会構造工学論文集編集小委員会主査・京都大学)
6. 特別講演会
日時: 2014年4月25日(金) 15:10~16:10
会場: 京都大学 吉田キャンパス 百周年時計台記念館 国際交流ホール
講師: 川口衛 (法政大学名誉教授)
題目: 構造の力と形のコントロール
司会: 吹田啓一郎
7. 土木・建築合同パネルディスカッション
「多様な要求性能に対する構造デザインの可能性」
日時: 2014年4月25日(金) 16:15~18:15
会場: 京都大学 吉田キャンパス 百周年時計台記念館 国際交流ホール
主旨説明: 吹田啓一郎
パネリストおよび講演:
 - ・エネルギー吸収部材を用いた構造デザインの可能性
竹内徹 (東京工業大学教授)
 - ・建築の多様化に対応する構造デザインの原理
金箱温春 (日本建築構造技術者協会会長・金箱構造設計事務所)
 - ・多様な要求と構造デザイン
石橋忠良 (JR東日本コンサルタンツ(株)取締役会長)
 - ・高速道路橋梁の構造形式決定において重視される観点
小川篤生 (大成建設(株)執行役員)司会: 前田匡樹 (日本建築学会構造工学論文集編集小委員幹事・東北大学)
深田宰史 (土木学会構造工学論文集編集小委員幹事・金沢大学)
8. 懇親会 (交流会)
日時: 2014年4月25日(金) 18:30~20:00
場所: 京都大学吉田キャンパス時計台前「カンフォーラ」
会費: 4,000円程度を予定 (当日会場でお支払いください。)
事前申し込みは必要ございません。
9. 構造工学論文集 Vol.60A の販売
受付にて販売いたします。郵送も承ります。定価 6,000円 (送料別)
10. 問い合わせ先 (事務局) — 土木学会研究事業課 増永克也
(TEL 03-3355-3559, E-mail masunaga@jsce.or.jp)
なお, 本シンポジウムは土木学会CPDプログラムに認定されています(認定番号JSCE13-0879)。

第60回構造工学シンポジウム（土木部門）プログラム案

土木部門プログラム(京都大学百周年時計台記念館)

	第1会場 国際交流ホールI	第2会場 国際交流ホールII	第3会場 会議室III	第4会場 会議室IV
4月25日 (金)	橋梁床版 (1) 9:30~10:45 座長:東山 浩士	橋梁耐震 (1) 9:30~10:45 座長:高橋 良和	振動・振動制御 9:30~11:00 座長:杉浦 邦征	構造工学一般 ・計算力学 9:30~11:00 座長:森田 千尋
	橋梁床版 (2) 11:00~12:15 座長:大西 弘志	橋梁耐震 (2) + 橋梁制震・免震 11:00~12:15 座長:姫野 岳彦	流体関連振動 ・風工学 (1) 11:15~12:15 座長:松田 一俊	構造安定・耐荷力 (1) 11:15~12:15 座長:鈴木 森晶
	休憩 12:15~13:15			
	地中構造・基礎構造 13:15~14:00 座長:若井 明彦	地震工学 13:15~14:30 座長:三神 厚	流体関連振動 ・風工学 (2) 13:15~14:30 座長:比江島 慎二	構造安定・耐荷力 (2) 13:15~14:15 座長:永田 和寿
	開会式(国際交流ホールI・II) 15:00~15:10			
	特別講演会(国際交流ホールI・II) 15:10~16:10			
	パネルディスカッション(国際交流ホールI・II) 16:15~18:15			
	交流会(「カンフォーラ」) 18:30~20:00			
4月26日 (土)	維持管理 (1) 9:45~11:30 座長:宮下 剛	衝撃問題 (1) 10:00~11:30 座長:香月 智	コンクリート構造 9:45~11:30 座長:斎藤 成彦	合成・複合構造 (1) 10:00~11:30 座長:大久保 宣人
	休憩 11:30~12:30			
	維持管理 (2) 12:30~14:00 座長:内田 大介	衝撃問題 (2) 12:30~14:00 座長:今野 久志	鋼・木構造 (1) 12:30~13:45 座長:渡辺 浩	合成・複合構造 (2) 12:30~13:30 座長:石川 敏之
	維持管理 (3) 14:15~15:30 座長:貝沼 重信		鋼・木構造 (2) 14:00~15:00 座長:中村 聖三	
第3回構造工学論文集編集小委員会(会議室IV) 15:45~17:00				

第1日：4月25日（金）

第1会場：国際交流ホール I

9:30 ~ 10:45 橋梁床版 (1)

座長：東山 浩士（近畿大学）

(15-1) 鋼橋 RC 床版の劣化要因と上面増厚効果の分析

小川篤生・縦山好幸・緒方辰男・〇木虎久人・梶原信哉・岩崎雅紀

(15-2) せん断筋補強した RC 床版の補強効果および耐疲労性の評価

阿部忠・〇高野真希子・澤野利章・川井豊

(15-3) 増厚界面に接着剤を塗布した下面増厚補強床版の補強効果および耐疲労性の評価

〇小森篤也・阿部忠

(15-4) 樹脂コンクリートにより上面増厚された RC 部材の静的載荷試験

〇大西弘志・宮田浩一・清水則善・小堀雅紀

(15-5) RC 床版の上面損傷に用いる補修材の提案および補修サイクルにおける耐疲労性の評価

阿部忠・〇伊藤清志・大野晃・山下雄史

11:00 ~ 12:15 橋梁床版 (2)

座長：大西 弘志（岩手大学）

(15-6) 調和解析法と選点法からなる併用法による多層版の数値解析

〇三上浩・高島輝雄・廣瀬清泰・堀川都志雄

(15-7) 凍結融解環境下における鋼コンクリート合成床版の熱伝導解析

〇松本高志・藤田隼生・林川俊郎・表真也・久保圭吾

(15-8) FRP を用いた道路橋歩道拡幅構造の耐荷性能に関する研究

〇角間恒・岡田慎哉・久保圭吾・松井繁之

(15-9) 床版取替え用プレキャスト PC 床版の合理化継手の開発

〇吉松秀和・松井繁之・大澤浩二・中山良直・水野浩・表真也

(15-10) 床版取替え用プレキャスト床版の合理化継手の開発

〇表真也・吉松秀和・中山良直・松井繁之・林川俊郎

13:15 ~ 14:00 地中構造・基礎構造

座長：若井 明彦（群馬大学）

(13-1) 杭作用によるフーチング損傷詳細分析

〇佐藤崇・幸左賢二・木下和香・白戸真大

(13-2) 背面に EPS 盛土を有する橋台の地震時動的遠心模型実験

〇藤原慎八・篠原聖二・西田秀明・石田雅博

(13-3) 逆断層を横断する耐震継手ダクタイル鉄管の挙動に関する研究

〇金子正吾・宮島昌克

第1日：4月25日（金）

第2会場：国際交流ホール II

9:30 ~ 10:45 橋梁耐震 (1)

座長：高橋 良和（京都大学）

(6-1) 画像及び数値解析手法を用いた気仙大橋の津波被害分析

〇神宮司博志・幸左賢二・佐々木達生・佐藤崇

(6-2) Tsunami force on bridge comparison of two wave types by experimental test

〇Li Fu・Kenji Kosa・Tatsuo Sasaki・Takashi Sato

(6-3) 3次元粒子法による橋桁に作用する津波外力評価とその精度検証

〇田邊将一・浅井光輝・中尾尚史・伊津野和行

(6-4) ピボット支承を有する旧式鋼鉄道橋の構造形式の違いによる地震時挙動への影響

〇和田一範・池田学・青木千里・工藤伸司・齋藤聡・黒田智也

(6-5) 柱躯体部が耐震補強された T 形 RC 橋脚における横梁の地震時損傷メカニズム

〇篠原聖二・張広鋒・星隈順一

11:00 ~ 11:30 橋梁耐震 (2)

同上

(6-6) RC 床版をアルミニウム床版に取り替えることによる鋼アーチ橋の耐震性向上に関する解析的検討

〇児玉喜秀・原田隆典・野中哲也・宇佐美勉・中村真貴

(6-7) 座屈拘束波形状鋼板 (BRRP) ダンパーの繰返し弾塑性挙動

〇宇佐美勉・山崎伸介・森翔吾・野呂直以・今瀬史晃・野中哲也

11:30 ~ 12:15

橋梁制震・免震

座長：姫野 岳彦（(株)川金コアテック）

(7-1) 履歴型ダンパーを用いた橋梁の設計におけるダンパー減衰力の選定に関する解析的検討

○武田篤史・尹元彪・鈴木基行

(7-2) サイズの異なるピン定着型ケーブル式落橋防止装置の緩衝特性に関する実験的考察

○結城洋一・玉井宏樹・宇野まり子・園田佳巨・春日井俊博

(7-3) 初期荷重状態の超高減衰ゴム支承を用いたハイブリッド地震応答実験

○高橋良和・鶴野禎史・朝倉康信・加藤亨二・山田博・兼子一弘

13:15 ~ 14:30

地震工学

座長：三神 厚（徳島大学）

(5-1) SPGA モデルと経験的サイト増幅・位相特性を考慮した 2011 年東北地方太平洋沖地震における長町高架橋での地震動とフラジリティカーブの評価

○秦吉弥・秋山充良・高橋良和・後藤浩之・野津厚・一井康二

(5-2) Strong motion evaluation at the Maturube Bridge for the 2008 Iwate-Miyagi Nairiku Earthquake considering the local site effects

○Yoshiya Hata・Susumu Nakamura・Atsushi Nozu

(5-3) 東北地方太平洋沖地震においてみられた横浜ベイブリッジの主塔主桁間の衝突とその再現による動的特性の解明

○高本剛太郎・水谷司・藤野陽三・Dionysius Siringoring

(5-4) レベル 2 地震動に対する送電用鋼管鉄塔の耐震性評価に用いる減衰定数について

○大野木亮太・河原章夫・久保田邦裕・山崎智之・中村秀治・本郷榮次郎

(5-5) 舗装直下地盤の液状化による舗装の変形と FWD たわみに関する模型振動実験

○大矢陽介・小濱英司・菅野高弘・川名太

第 1 日：4 月 25 日（金）

第 3 会場：会議室 III

9:30 ~ 11:00

振動・振動制御

座長：杉浦 邦征（京都大学）

(4-1) パワースペクトルを用いた水平歩行外力の算定とその高次成分の評価

○米田昌弘

(4-2) 圧電素子を用いた損傷同定モニタリングシステムの実験的研究

○小幡卓司

(4-3) 橋梁の損傷検知を目的とした車両振動の統計的分析

大島義信・○船水洋輔・山本亨輔・杉浦邦征

(4-4) 単径間鋼トラス橋における振動特性の同定とその変化に及ぼす損傷の影響

金哲佑・○北内壮太郎・張 凱淳・大島義信・杉浦邦征

(4-5) Reduction effect evaluation of various factors on high-speed train-induced vibration of Shinkansen viaducts

○Liangming Sun・Toshiro Hayashikawa・Xingwen He・Mitsuo Kawatani・Takashi Matsumoto

(4-6) 交通荷重下の鋼桁橋の応答計測と局部応力の評価

○蘇迪・嶋田優樹・三輪陽彦・藤野陽三・長山智則・水谷司

11:15 ~ 12:15

流体関連振動・風工学 (1)

座長：松田 一俊（九州工業大学）

(8-1) 3次元運動解析による風車ブレード振動測定を試み

○幽谷栄二郎・木村吉郎・星野龍一郎・木村大知

(8-2) Numerical analysis for effect of flap on wind flow across box girder section

○Dat Anh Tran・Hiroshi Katsuchi・Hitoshi Yamada・Mayuko Nishio

(8-3) 着雪単導体送電線のギャロッピングに対する相間スペーサの取り付け位置の統計的評価方法の検討

○坂口剛・馬郡英樹・横山隆一

(8-4) 数値流体解析を用いた臨界領域における円柱まわりの流れの特徴の把握

○糟谷直樹・平野廣和・丸岡晃・佐藤尚次

13:15~14:30

流体関連振動・風工学 (2)

座長：比江島 慎二 (岡山大学)

- (8-5) 一様流中の非定常再付着型矩形柱の変動揚力の空間相関特性 ○伊藤靖晃・白土博通・松本勝・野澤剛二郎
- (8-6) Experimental study on dry-state galloping with various wind relative angles and its countermeasures
○Hung Vo Duy・Hiroshi Katsuchi・Hitoshi Yamada・Mayuko Nishio
- (8-7) 主流方向に縦列で並んだアレイの配置が風力係数に与える影響
○池田博嗣・松田一俊・加藤九州男・大竹克典・中牟田和典・池田浩一
- (8-8) 太陽光発電パネルに作用する空気力の地面効果に関する風洞実験 ○松宮央登・中岡宏一・西原崇・木村吉郎
- (8-9) 地上設置型太陽光発電パネルの地面効果に関する数値シミュレーション ○村上貴裕・松宮央登・服部康男・江口譲

第1日：4月25日 (金)

第4会場：会議室IV

9:30 ~ 11:00

構造工学一般・計算力学

座長：森田 千尋 (長崎大学)

- (1-1) B-spline Ritz 法による任意の支持条件を有する矩形板の三次元自由振動問題のエネルギー解析
○名木野晴暢・清成康平・水澤富作・三上隆
- (1-2) 各種劣化要因が超音波法における波形に及ぼす影響に関する数値解析的検討
○荒木志帆・吉田秀典・中川裕之・難波美枝
- (1-3) ゴムマットを有するコンクリートブロック多段積み構造における共振メカニズムの解析的考察
○森本敏弘・浅井光輝・水田洋司・山尾敏孝
- (1-4) 緩衝金具を有する落石防護工の解析手法の簡易化 ○岩崎英治・山本順也
- (1-5) 橋梁上部構造に作用する津波波力特性に関する基礎的研究 ○林秀和・青木圭一・四條利久磨・鈴木俊光・越村俊一
- (1-6) Effects of Bracing Systems on Redundancy of Three-Span Composite Twin I-girder Bridge
○Heang Lam・Weiwei Lin・Teruhiko Yoda

11:15 ~ 12:15

構造安定・耐荷力 (1)

座長：鈴木 森晶 (愛知工業大学)

- (2-1) ハイブリッド桁の曲げせん断相関およびせん断耐荷力式に関する一考察 ○野坂克義・大野雄史
- (2-2) 初期たわみと残留応力の統計データを用いた自由突出板の限界強度に関する数値解析的検討
○小室雅人・奥井義昭・野坂克義・宮下剛・野上邦栄・長井正嗣
- (2-3) 腐食した鋼桁端部の当て板補修に関する実験的検討 ○丹波寛夫・橋本国太郎・田中大介・杉浦邦征
- (2-4) 水平荷重を受ける端横桁の変形挙動に及ぼす腐食の影響 ○山口栄輝・辻浩幸

13:15 ~ 14:15

構造安定・耐荷力 (2)

座長：永田 和寿 (名古屋工業大学)

- (2-5) ステンレス鋼溶接箱形断面柱部材の終局圧縮強度 ○三好崇夫
- (2-6) トラス橋における各種圧縮部材の終局強度および変形に関する解析的研究 ○松村政秀・吉山純平・山口隆司
- (2-7) 非線形 FEM 解析に基づく風車無筋ペDESTALの耐力評価式の提案 ○佐野健彦・石原孟
- (2-8) 軸方向鉄筋比の小さい鉄筋コンクリート橋脚の水平方向の抵抗特性に関する実験的検討
○澤松俊寿・岡田慎哉・角間恒・西弘明

第2日：4月26日（土）

第1会場：国際交流ホール I

9:45 ~ 11:30 維持管理 (1)

座長：宮下 剛（長岡技術科学大学）

- (9-1) 岐阜県橋梁点検データベースの統計解析に基づく簡易橋梁健全度評価指標
○本城勇介・大竹雄・佐藤敦・流石堯・小林孝一・宗宮裕雄
- (9-2) オートバイの応答を利用した舗装路面の簡易評価システムの開発
○大島義信・長山智則・Heng Salpisoth・河野広隆
- (9-3) 分布型光ファイバセンサを用いた橋梁支承モニタリングに関する基礎検討
○西尾真由子・水野圭太・勝地弘・山田均
- (9-4) 変形の空間分布計測による損傷検知に関する実験／解析的検討
○稲田裕
- (9-5) Changes of natural frequencies of a short-span concrete skew bridge during construction
○Ratna Prasad Twayana・Shinichiro Mori
- (9-6) 橋梁振動実験に基づく斜橋の固有振動数の同定と部材の損傷が振動特性に及ぼす影響に関する基礎的研究
○渡邊学歩・友廣郁也・後藤悟史・江本久雄
- (9-7) 振動応答による損傷推定と一般化に関する研究
○岡野雅・服部洋・松山卓真・別所謙・白土博通・八木知己

12:30 ~ 14:00 維持管理 (2)

座長：内田 大介（三井造船（株））

- (9-8) ダムの経年鑄鋼製バルブリーフの腐食実態と耐力特性に関する解析的検討
○河内友一・西川雅章・中村秀治
- (9-9) 鋼橋桁端部腹板の腐食に対する炭素繊維シートを用いた補修・補強法の最適設計方法に関する一考察
○奥山雄介・宮下剛・若林大・秀熊佑哉・小林朗・小出宜央・堀本歴・長井正嗣
- (9-10) 繰り返し軸力を受ける鋼板接着補強された腐食鋼板の耐久性
○植村有馬・藤井堅・井上太郎
- (9-11) UFC パネルを用いた腐食鋼部材の性能回復特性に関する研究
○勝山真規・下里哲弘・江里口玲
- (9-12) FRP 板水中接着曲げ補強 RC 梁の耐荷性能に及ぼす補強量の影響
○三上浩・栗橋祐介・小室雅人・岸徳光
- (9-13) 橋梁用高降伏点鋼板(SBHS)を用いた溶接継手の疲労特性
○判治剛・館石和雄・小野秀一・段下義典

14:15 ~ 15:30 維持管理 (3)

座長：貝沼 重信（九州大学）

- (9-14) 腐食環境評価のための浮遊塩分量調査とその数値予測について
○小畑誠・村上太郎
- (9-15) 腐食環境評価の高度化に向けた鋼材への付着塩分量の推定のための基礎的検討
○広瀬望・武邊勝道・大屋誠・佐藤誠
- (9-16) 海塩粒子の物理挙動と風況に基づく付着塩分量の評価
○野口恭平・金城佑紀・姜詠・白土博通・八木知己・服部洋・田中雄三
- (9-17) 環境促進実験による構造用鋼溶接部の腐食特性および防食塗装劣化特性に関する基礎的研究
○廣畑幹人・伊藤義人
- (9-18) 経年無塗装耐候性鋼材を用いた異種接合面を有する高力ボルト摩擦接合継手のすべり係数に関する実験的研究
○橋本国太郎・山口隆司・鈴木克弥・石原一伸・杉浦邦征

第2日：4月26日（土）

第2会場：国際交流ホール II

10:00 ~ 11:30 衝撃問題 (1)

座長：香月 智（防衛大学校）

- (14-1) AFRP シート曲げ補強 RC 梁の耐衝撃性能に関する実験的検討
○栗橋祐介・今野久志・三上浩・岸徳光
- (14-2) ソイルセメントを用いた三層緩衝構造の限界状態および荷重分散領域に関する実験的検討
牛渡裕二・栗橋祐介・○鈴木健太郎・川瀬良司・岸徳光
- (14-3) ソイルセメントを用いた緩衝システムの模型実験および実規模擁壁に関する衝撃応答解析

○牛渡裕二・小室雅人・前田健一・保木和弘・岸徳光

(14-4) 敷砂あるいは碎石緩衝材の緩衝特性に関する大型重錘落下衝撃実験

○山口悟・木幡行宏・小室雅人・内藤直人・岸徳光

(14-5) 重錘落下衝撃実験に供する実規模ロックシェッド模型の断面設計に関する一検討

○西弘明・牛渡裕二・山口悟・小室雅人・岸徳光

(14-6) 緩衝材として碎石を設置した実規模 RC 製ロックシェッドの重錘落下衝撃実験に基づいた弾性衝撃挙動

○岡田慎哉・今野久志・山口悟・栗橋祐介・岸徳光

12:30 ~ 14:00

衝撃問題 (2)

座長: 今野 久志 (寒地土木研究所)

(14-7) 落体質量と衝突速度の異なる外力条件を受ける敷砂緩衝材の衝撃力伝達挙動に関する数値解析的検討

○内藤直人・前田健一・山口悟・牛渡裕二・鈴木健太郎

(14-8) 実斜面を用いた実規模重錘衝突実験によるポケット式落石防護網の評価

○難波正和・前川幸次・田島与典・横田哲也

(14-9) 三次元個別要素法による落石防護網の衝撃応答解析

○高橋利延・山本佳士・香月智・高森潔

(14-10) 落石防護柵におけるサンドパックの影響に関する研究

○榊谷浩・ホーシータム・西田陽一

(14-11) 爆薬の接触爆発に対する薄鋼板の貫通限界評価式の提案

橋本進・○大野友則・中村弘

(14-12) MPS 法による衝撃的流体力の数値シミュレーションに関する検討

金子鉄兵・○別府万寿博

第2日: 4月26日 (土)

第3会場: 会議室Ⅲ

9:45 ~ 11:30

コンクリート構造

座長: 斎藤 成彦 (山梨大学)

(11-1) 多数の鉄筋破断が生じた ASR 劣化構造物の特性分析

○上原伸郎・幸左賢二・大代武志・原口政仁

(11-2) ASR 供試体を用いた鉄筋損傷の再現実験

○上原伸郎・幸左賢二・上園祐太

(11-3) 凍結融解によって劣化した RC はりのせん断耐力

○土屋祐貴・八嶋宏幸・内藤英樹・王蓓・山洞晃一・古賀秀幸・鈴木基行

(11-4) 塩害により著しく劣化した RCT 桁の劣化度と残存耐力

下里哲弘・○金田一男・砂川章次・淵脇秀晃・久米仁司・太田清志・玉城喜章・長嶺由智

(11-5) ひび割れに起因する鉄筋腐食が生じた RC ボックスカルバートの耐荷特性評価

○松尾豊史・松村卓郎・原口和靖

(11-6) 軸方向鉄筋のはらみ出し現象に着目した鉄筋コンクリート橋脚の塑性ヒンジ長の評価

○堺淳一・星隈順一

(11-7) 高強度鉄筋と高靱性セメント材料を使用した RC 橋脚の変形性能に関する研究

○佐藤崇・幸左賢二・篠崎正治・小川敦久

12:30 ~ 13:45

鋼・木構造 (1)

座長: 渡辺 浩 (福岡大学)

(10-1) ビーム型伸縮装置の溶接部の疲労試験

○伏屋和樹・竹市雅人・山田健太郎

(10-2) 面外ガセット溶接継手の疲労強度の寸法効果に関する一考察

○穴見健吾・合田雄亮・内田大介・平山繁幸・判治剛

(10-3) 鋼橋十字溶接継手部の目違いの測定と疲労に対する影響度評価

穴見健吾・菅沼翔伍・内田大介・澁谷敦・○細見直史・瀬能浩実

(10-4) 拡大孔を有する皿型高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力に関する研究

○田畑晶子・黒野佳秀・金治英貞・山口隆司

(10-5) 皿型高力ボルト摩擦接合継手の施工誤差に起因する片当たりがすべり耐力及びすべり後耐力に与える影響の検討

田畑晶子・○黒野佳秀・金治英貞・山口隆司

14:00 ~ 15:00

鋼・木構造 (2)

座長: 中村 聖三 (長崎大学)

(10-6) 高力ボルト継手の終局挙動における孔変形に着目した 2, 3 の考察

○高井俊和・山口隆司・三ツ木幸子・西川真未

(10-7) 腐食孔を模擬した凹部を有する接合面に接着剤を塗布した高力ボルト継手の力学的挙動に関する実験的研究

○丹波寛夫・行藤晋也・山口隆司・杉浦邦征・飛ヶ谷明人・田畑晶子

(10-8) 接合具に異形棒鋼を用いた木製治山ダムの耐荷力

○千田知弘・佐々木貴信・野田龍・渡辺浩・原田利正・三浦靖浩

(10-9) 劣化したボンゴシ材の曲げ強度と面圧強度に関する検討

○渡辺浩・田中圭・森拓郎・千田知弘

第2日: 4月26日 (土)

第4会場: 会議室IV

10:00 ~ 11:30

合成・複合構造 (1)

座長: 大久保 宣人 (片山ストラテック (株))

(12-1) 複合構造化によりリニューアルされた既設鋼鉄道橋に関する研究

○谷口望・佐竹紳也・林偉偉・松浦史朗・半坂征則

(12-2) 連続合成桁の設計における収縮・温度差・クリープの影響

○谷口望・藤原良憲・武居秀訓・久保武明・由井洋三

(12-3) 孔あき鋼板ジベルの荷重伝達メカニズムに関する一考察

○道菅裕一・藤井堅・民家洋輔・藤井大成

(12-4) PBL 接合部の耐荷性能評価法に関する基礎的研究

○宗本理・園田佳巨

(12-5) 鋼製格子部材を埋設した合成構造フーチングの耐荷性能に関する実験的研究

○伊原茂・中野博文・内海和仁・武田篤史・天野寿宣・斉藤成彦

(12-6) 少数主桁形式の鋼合成桁と PC 桁のずれ止め方式による接合構造の研究

○篠崎裕生・浅井洋・紙永祐紀・牧剛史・睦好宏史

12:30 ~ 13:30

合成・複合構造 (2)

座長: 石川 敏之 (京都大学)

(12-7) 鋼-コンクリート接合部の耐力評価に関する実験的研究

○遠藤繁人・和田圭仙・七澤利明・星隈順一

(12-8) Rehabilitation Performance of Welded Joints in Aged Railway Bridges

○Weiwei Lin・Teruhiko Yoda・Nozomu Taniguchi・Yusuke Sugino

(12-9) 路盤コンクリートを構造部材とした合理化 SRC 桁の性能検証

藤原良憲・徳富恭彦・池田学・平暁・栗山亮介・久保武明

(12-10) 落橋防止装置として用いる SRC 埋込み定着構造の耐荷性能に関する実験的研究

○池田学・斉藤雅充・藤原良憲・久保武明